

普通の暮らしに戻す支援を

みんなで考える場

自立支援型地域ケア会議

刈谷市役所 長寿課



1 はじめに

2 自立支援型地域ケア会議

3 自立支援型地域ケア会議の効果

1 はじめに

高齢者数と認定者数の推移について

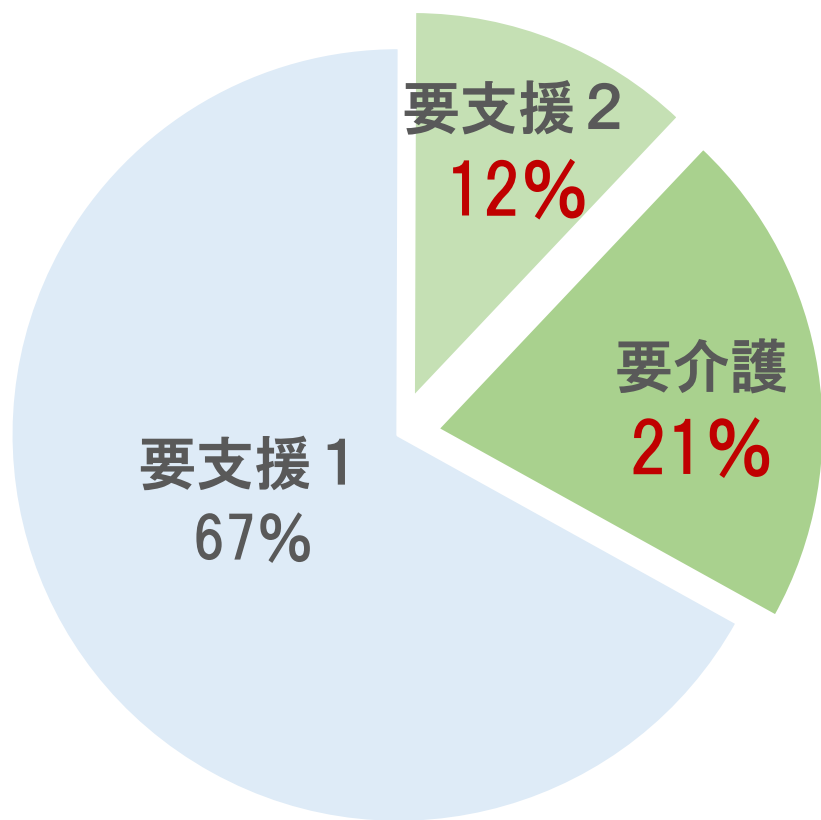
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
人口（人）	145,781	149,765	152,816	154,624	155,281	154,865	153,533
人口の伸び率（%）	103	103	102	101	100	100	99
高齢者人口（人）	23,009	28,303	31,495	32,957	35,169	37,979	41,443
高齢者人口の伸び率（%）	124	123	111	105	107	108	109
人口に占める高齢者割合（%）	16	19	21	21	23	25	27
要支援・要介護認定者数（人）	3,383	4,312	4,973				
要支援・要介護認定者数の伸び率（%）	113	127	115				

今後も認定者数は伸びていくことが予測される

高齢者人口の伸び率を上回る勢いで**認定者の伸び率**が上がっている

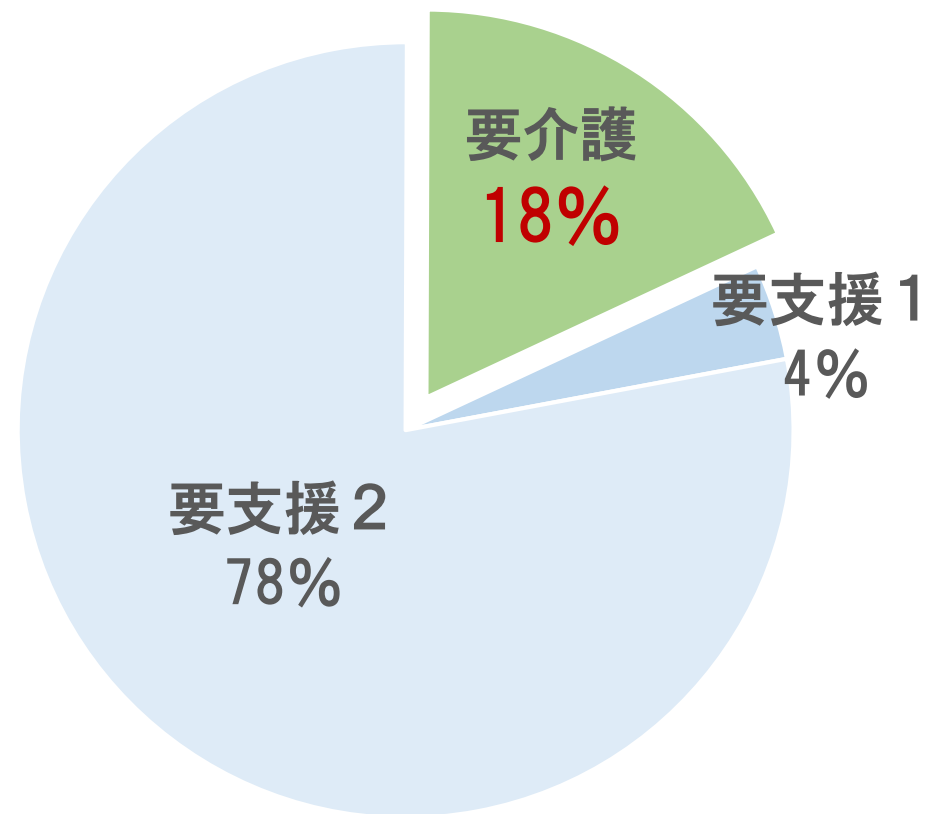
要支援者の一年後の重度化率

要支援 1



翌年には **3 人に 1 人** が重度化

要支援 2



翌年には **5 人に 1 人** が重度化

1 はじめに

2 自立支援型地域ケア会議

3 自立支援型地域ケア会議の効果

できるだけ本人の「普通の暮らし」を守るそのためには？

価値観（幸せと思うこと）

サービスの「終了」は気の毒だ
専門職がずっと関わり続けることが必要

医療・介護は本人にとっては非日常
なじみの環境で暮らせるほうが幸せ
元の自由なふつう暮らしに戻そう

支援の目的・方向性

介護保険サービスを利用してもらおう
できるだけ長く使ってもらおう

普通の暮らしを長く続けられるよう、
活動的に生活し、重度化を防ぐための
習慣を身につけてもらえるよう支援

普通の暮らしを戻す支援を皆で考える場 = **自立支援型地域ケア会議**

グラントルール

①オープンカンファレンス式

参加自由（無報酬）アドバイザー不在（対等な関係）

②ケーススタディ型

よくある症例を検討 この方「で」考えて、次に活かす
プランチェックの場ではない

③「生活モデル」に基づくディスカッション

暮らしを支える視点で検討
質問ではなく討論重視

1 はじめに

2 自立支援型地域ケア会議

3 自立支援型地域ケア会議の効果

高齢者の生活課題は何かを把握する

医療や介護が必要となった高齢者に

どのような**生活課題**があるのか把握できていない

要支援のケアマネジメント

- ・ 廃用症候群からの脱却には、本人のもう一度できるようになりたいという「**意欲**」が欠かせない
- ・ その人の生活スタイルにアプローチし、行動変容を促す必要がある

ケアマネだけでは非常に難しい

ケアマネだけではなく、地域で課題解決をする

地域ケア会議

自立支援型ケアマネジメントの徹底

単に「外出をデイサービス」を、「家事をヘルパー」に置き換えても、重度化は予防できない。自立した生活を取り戻す「**課題解決型**」のサービス提供」となっているか。

安定歩行

家事・役割

意欲減退

コミュニケーション

認知症

交流・参加

食欲

しなくなった活動

どの要素が課題となって今があるのか

この方にとっての「**普通の生活**」「**自立支援**とは何か」を常に問う

2 自立支援型地域ケア会議の効果

「ないものねだり」ではなく
「あるものさがし」へ

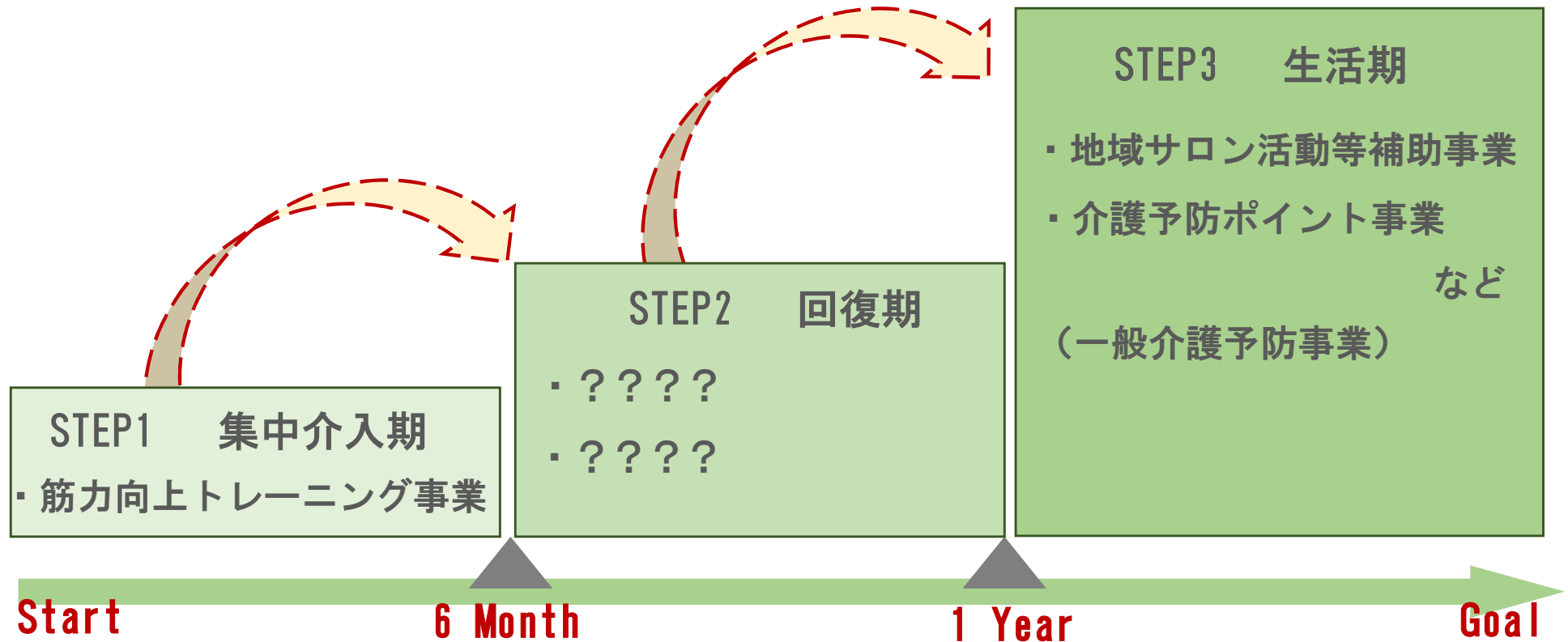
公 共 施 設	地 域	民 間 企 業
場所 集会所、公民館など 公園、池 ゴミ置き場など	健康 地域サロン 老人クラブ	食料品 コンビニ スーパー 八百屋 果物屋
健康 オンライン体操教室 あたまの健康チェック	交流 各種地域イベント 夏・秋祭り、文化祭 おこしもん・餅つき	生活支援 家事代行・御用聞き ごみ処理 シルバー人材センター
移動 市のバス停ルート 高齢者・介護タクシー	防災 避難所マップ 各区情報マップ	薬・生活用品 薬局・ドラッグストア 100円ショップ

足りない資源の気づき
生活支援体制整備

インフォーマル資源の共有
生活支援コーディネーター

2 自立支援型地域ケア会議の効果

事業をばらばらで捉えず、
各事業の関連性を見直す



制度の創出・修正
政策形成機能

多職種の交流で地域で高齢者を支える

事例提供者

専門職からアドバイスをもらえる



地域ケア会議

会議参加者（専門職）

様々なケースに触れることで参加者自身の**視点**が養われる



多職種で交流し、繋がりを持つ

終了後

後日



養われた**視点**で解決できることもあるが、

解決できないものは**専門職に聞く**

医療介護連携

3 自立支援型地域ケア会議の効果

自立支援型地域ケア会議で すべてがつながる

わがまちの
地域包括ケア
目指す方向の共有
(規範的統合)

高齢者の
生活課題の把握
(地域ケア会議)

専門性の技術移転
専門性の多角的向上
(医療介護連携)

制度の創出・修正
(政策立案)

自立支援型地域ケア会議
の効果

自立支援型
ケアマネジメント
(総合事業)

足りない資源の気づき
(生活支援体制整備)

インフォーマル資源の共有
(生活支援コーディネーター)